報道機関　各位

議題１

記者発表資料
令和元年１２月２６日（木）
問い合わせ先：広聴課
課長：飯塚
担当：松田、米倉
電話：８２９－１９３１
内線：２１５５

令和元年度「さいたま市民意識調査」調査結果を公表します

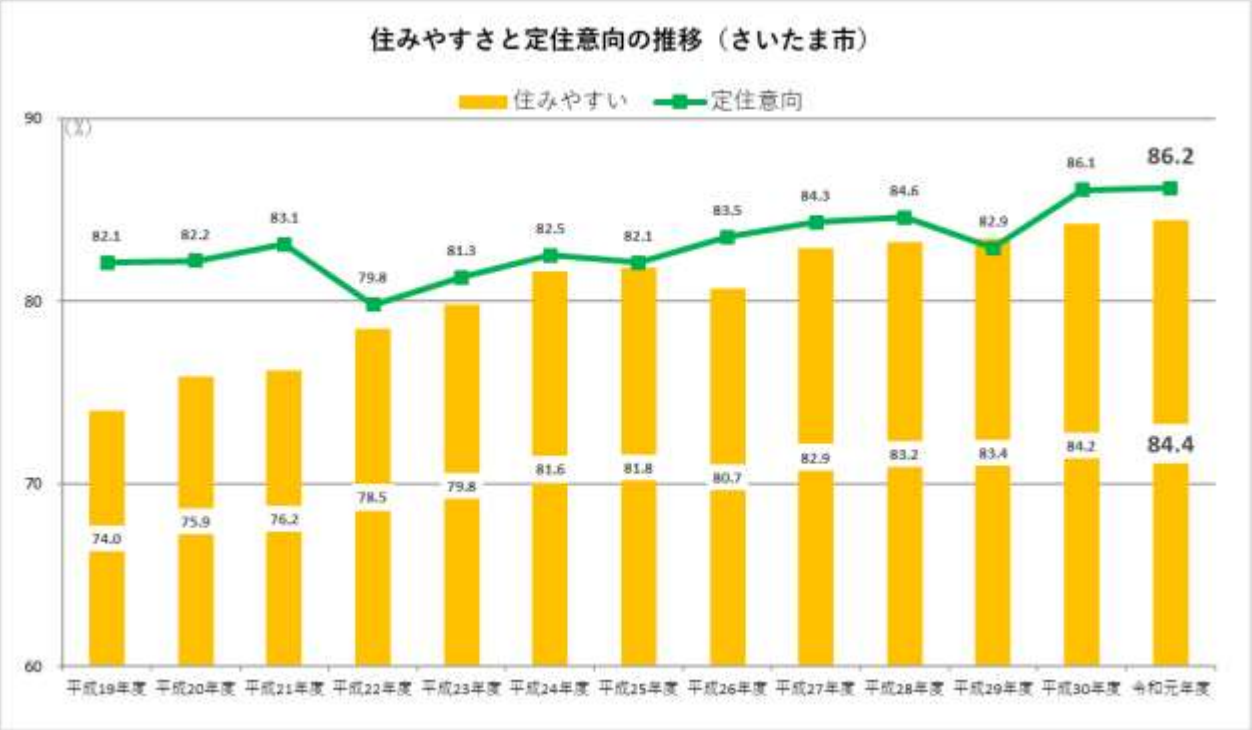
さいたま市では、広聴活動の一環として、施策に対する市民の意向等を把握し、今後の市政運営の参考とするため、市民意識調査を平成 19 年度から毎年実施しています。

このたび、令和元年度「さいたま市民意識調査」の調査結果を公表します。

１　調査結果（抜粋）

（１） 住みやすい人、住み続けたい人は、ともに８割半ばで調査開始以降最高値となり、高い水準で増加基調が続く

今の地域が住みやすいと思う人（「住みやすい」＋「どちらかといえば住みやすい」の合計）は 84.4%、住み続けたい人（「ずっと住み続けたい」＋「当分の間住み続けたい」の合計）は 86.2%と、ともに調査開始以降最高値となり、高い水準で増加基調が続いています。



（２）さいたま市のイメージは、「買い物など生活に便利」「交通の利便性が高い」

さいたま市のイメージは、「買い物など生活に便利」と「交通の利便性が高い」が、在住者、在勤者ともに５～６割を占めています。また、「スポーツが盛んなまち」「コンサートやイベントが多いまち」は、在勤者が在住者を大きく上回りました。

（３）今後力を入れて取り組んで欲しい事業は、「高齢者福祉の充実」

事業分野別のニーズでは、「高齢者福祉の充実」が 44.8%で最も高く、「道路の整備／鉄道・バス輸送サービスの充実」（33.2%）、「子育て支援の充実」（30.7%）が続いています。

２　調査のあらまし等

＜調査のあらまし＞

	在住者意識調査	在勤者意識調査
調　査　地　域	さいたま市全域	さいたま市全域の事業所
調　査　対　象	さいたま市在住の満 18 歳以上の男女	さいたま市外からさいたま市内に通勤する満 18 歳以上の男女
調査対象数	5,000 人	2,000 人
抽　出　法	住民基本台帳に基づく層化多段無作為抽出	市内の事業所を無作為に抽出し、事業所を通じて個人への調査を依頼
調　査　方　法	郵送配布・郵送回収法	
調　査　期　間	令和元年６月３日～６月 20 日	
回　収　結　果	有効回収数　2,552	有効回収数　587

＜調査項目＞

在住者意識調査		在勤者意識調査
①地域での生活	④市政との関わり	①さいたま市のイメージ
②地域のイメージ	⑤市政への満足度・重視度	②市内での活動
③さいたま市のイメージ	⑥今の地域を選んだ理由	

３　配置場所

「報告書」は、各区役所情報公開コーナー・図書館に閲覧用として配置します。また、市ホームページからもダウンロードできます。

（パソコン用 https://www.city.saitama.jp/006/002/004/p068798.html）